

日本の政治について



しゅうぎいんざいん
衆議院議員
さいとう
齋藤 つよし

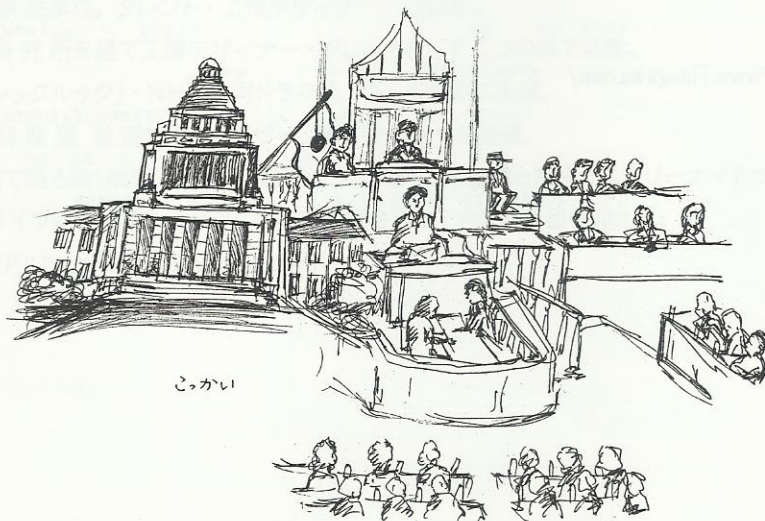
国会は国権の最高機関

多くの国と同様に日本の国の仕組は立法・行政・司法の三つの権能が、それぞれ互いにチェックしあうことによって、一つの権力が突出しないようバランスをとるよう工夫されています。これを三権分立と言います。三権の中でも、立法府である国会は、憲法によって国権の最高機関として位置づけられています。それは国会が、主権者である国民が選挙で直接選んだ議員によって運営されており、民意が最も反映されているという考え方に立っているからです。

日本の政治は国会を中心に行われていますが、地方においても選挙によって選ばれた知事、市町村長や地方議会の議員が地方の政治を行っています。最初に国の政治、次に地方の政治について説明します。

衆議院・参議院の二院制

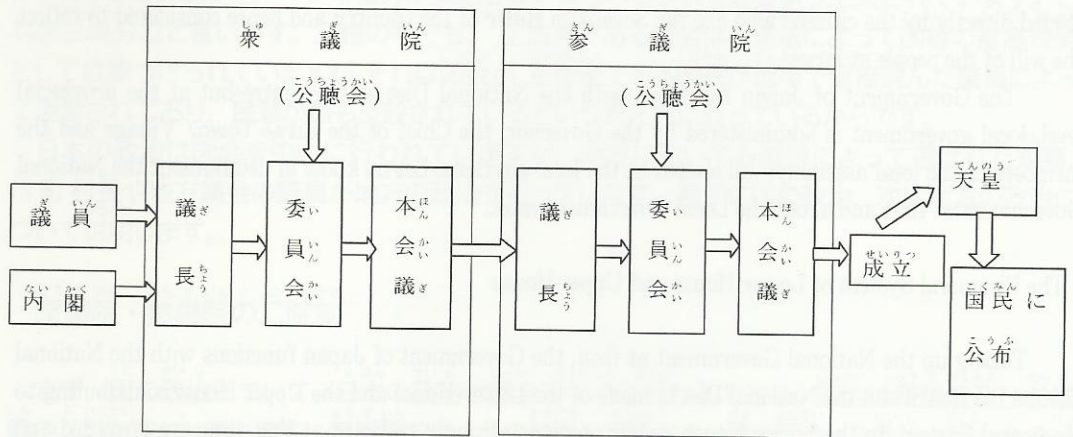
まず、国の政治について、日本の政治は国会を中心に行われており、国会は衆議院及び参議院の二院制をとっています。衆議院では、その時々世論をより強く反映した政治が行われる一方、参議院では、衆議院の議論の足りないところを補完したり、行き過ぎを抑制する役割を担っています。そのため衆議院を「第一院」と呼ぶのに対し、参議院は「第二院」あるいは「良識の府」と呼ぶことがあります。



国会の役割と衆議院の優越

国会の最も重要な役割は、予算や法律を審議し、成立させることです。衆議院で可決した予算案や法律案は参議院で可決されれば成立します。しかし、衆議院で可決された予算案が参議院で否決された場合は、両院協議会を開くことになっていますが、そこで意見が一致しなかった場合には、衆議院の議決が優先されます。また、法律案についても参議院で否決された場合でも、衆議院で3分の2以上の多数で再び可決されれば法律になります。衆議院にはこのように参議院に優越した権能があり、このような権能を「衆議院の優越」と言います。

法律の制定 (立法)



行政監視の機能

この他国会には、行政のチェック・監視という役割もあります。国会議員は、国民のさまざまな声を聞くことによって、行政の対応や在り方について、国会での審議を通じて政府の考えを質したり、政策の見直しなどを政府に要請することもあります。また、野党は与党の政権運営が国民の信頼を得ていないと判断した場合には、衆議院に内閣不信任案を提出することもあります。多くの場合、内閣不信任案は否決されますが、可決された場合は内閣は総辞職するか、衆議院を解散し、総選挙によって国民の審判を受けることになります。

衆参の定数・任期と選挙制度

衆議院の議員定数は480人で任期は4年ですが、任期の途中で解散・総選挙が行なわれることがあります。480人のうち、300人は小選挙区選挙により、180人は比例代表選挙によって選ばれます。小選挙区選挙は300の選挙区からそれぞれもっとも最も得票数の多かった候補者1人が当選者となります。また比例代表選挙は全国を9つのブロックに分け、各ブロックでそれぞれ定数が決められています。各政党はそれぞれのブロックで複数の候補者を擁立し、有権者は政党名を書いて投票します。各政党の得票数に応じてその政党への議席数が配分され、順次当選者が決まる仕組みになっています。

また、参議院の議員定数は242人で、任期は6年ですが、3年ごとに半数の121人の選挙が行

なわれます。参議院議員の選挙は、都道府県単位の選挙区選挙と、全国を対象にした比例代表選挙で選ばれます。

衆議院と参議院

	衆議院	参議院
議員数	480人	242人
任期	4年（解散がある）	6年（3年ごとに半数改選）
選挙する人	20歳以上	20歳以上
立候補できる人	25歳以上	30歳以上
選挙区	小選挙区300人 比例代表180人	47選挙区146人 比例代表96人
解散	ある	なし

議院内閣制

衆議院の総選挙が行なわれると、そこで最も多くの議席を獲得した政党の中から内閣総理大臣が選ばれます（首班指名）。このような制度を議院内閣制と言います。内閣総理大臣は、官房長官、法務大臣、外務大臣など最大17名の国務大臣を任命して内閣を組織し、政権を運営します。大臣は国会議員の中から任命されることが多く、民間から任命されることは少ないのが現状です。任命された各大臣は、法務省や外務省など各府省の中に入り、その長として、行政運営の責任者となります。

知事・市町村長は直接選挙で選出

次に、地方について簡潔に説明します。

地方行政は、都道府県と各市町村に分かれて行われます。都道府県では、知事が行政の長として選挙で選ばれますが、県行政の監視や条例の制定に携わる県議会議員も選挙によって選ばれます。

市町村でも、市町村長が行政の長として、また市町村議会議員が行政の監視や条例の制定を行う者として選挙で選ばれます。国においては、行政の最高責任者を国会議員の中から選出することになっていますが、地方においては、行政の長と議会の議員は別々の選挙によって選ばれることになっています。

国では国会と内閣の関係は議会の中から内閣が組織される議院内閣制が採用されていますが、地方の議会と長との関係は議員も長も住民の直接選挙によって選出される仕組みになっています。

す。それは、^{ちほう}地方は^{ちいき}地域も^{せま}狭く、^{ちほうじちたい}地方自治体の^{じむ}事務も^{じゅうみん}住民と^{きんみつ}緊密な^{かんけい}関係があることから、^{ちやくせつ}直接^{じやうみん}住民の^{いし}意思を^{はんえい}反映することによって、^{みんしゆてき}より^{せいじ}民主的な^{おこ}政治を行なうことができると考えられているからです。

衆議院議員 齋藤つよし

^{ねんよこはま}1945年^し横浜市^う生まれ。^{ねんよこはまし}1961年^{りつまい}横浜市立^た蒔田^{ちゆう}中学校^{がっこう}卒業^{そつぎょう}後、^{よこはま}横浜市^{やくしよ}役所^{しゅうしよく}に就職、^{はたら}働きながら^{しりつよこはま}市立^{しょうぎょう}横浜^{こうこう}商業^{こうてい}高校^{いじせい}定時^{かながわ}制、^{だい}神奈川^{がく}大学^ぶ第二^{そつぎょう}法学部^ぶ卒業。

^{ねんよこはまし}1987年^{ぎかい}横浜市^{いん}議会^{どうせん}議員^{ねん}に^{さいせん}当選。^{ねんかん}1995年^{ねんかん}参議院^{きんぎょく}議員^{とうせん}（^{ねんかん}神奈川県^{きんぎょく}選挙区^{とうせん}）^{ねんかん}当選、^{ねんかん}2001年^{さいせん}に^{ねんかん}再選。^{ねんかん}10年^{ねんかん}間の^{こっかい}国会^{かつどう}活動^{ぶんけん}では^{へいわ}分権^{ぜいせい}・^{ふん}平和^や・^{かつやく}税制^ななどの^{ぶん}分野^でで^{かっやく}活躍。

^{ねん}2005年^{がつ}9月^{だい}第44回^{かいしゅう}衆議院^{ぎん}議員^{ざい}選挙^{いん}神奈川^{ぎん}川^{いん}11区^{せんきょ}で^{かながわ}立候補。^く2009年^{りっこう}8月^ほ第45回^{ねん}衆議院^{がつ}議員^{かい}選挙^{しゅう}にて^{ぎん}比例^{いん}（^{ひれい}みなみ南^{かんとう}関東^{どうせん}ブロック^{より}より^{とうせん}当選。